

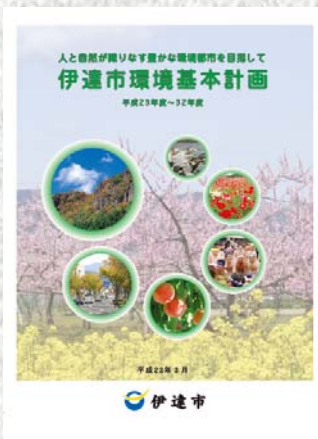
「伊達市環境基本計画」を策定しました！

皆様のご協力
本当にありがとうございました。

市では、平成 23 年 3 月に「伊達市環境基本計画」を策定しました。

アンケート調査などで貴重なご意見・ご要望をいただいた市民の皆さま、「伊達市の環境を考える市民会議」の皆さまをはじめ、多くの方のご協力により策定することができました。

今回は、計画の概要をご紹介します。また、今後は計画のダイジェスト版を作成し、皆さまにもご覧になっていただく予定です。



伊達市環境基本計画とは

- 平成 18 年 1 月 1 日に伊達町、梁川町、保原町、霊山町、月舘町が合併し、「伊達市」が誕生しました。市では、緑豊かな山間地から果樹園や農地の広がる平地、市街化の進む都市的な地域まで、地域で異なる環境の特徴や課題に対応した環境づくりの指針が必要でした。
- この計画は、現在の緑豊かで住み心地のよい快適な環境を保全し、将来のこどもたちに継承していくために、市民や事業者の皆さま、そして行政（市）がそれぞれの立場でやるべきことを定めた計画です。
- 平成 32 年度を目標とする 10 年間の計画です。

「伊達市環境基本計画」の特徴

① 市民や事業者、多くの皆さまの参加でつくりました。

「伊達市の環境を考える市民会議」や「こどもワークショップ」などを開催し、多くの皆さまの意見や思いを計画に取り入れました。



▲伊達市の環境を考える市民会議

② 計画策定後の実行性を高める工夫をしました。

取り組みの役割の明確化（施策実施担当課の明記）、目標の明確化（定量的な進行管理指標）、特徴や課題を踏まえた先導的な取り組み（リーディングプロジェクト）など、計画が「絵に描いたモチ」にならないための工夫に努めました。



▲こどもワークショップ（H21 夏）

伊達市が取り組むこと

伊達市が目指す将来環境像

人と自然が織りなす豊かな環境都市を目指して

詳しい内容、具体的な取組については市のホームページ、または市役所環境防災課までお問い合わせください。

環境像の実現に向けた5つの環境目標



【自然環境】

豊かな自然の中で人々が共生できるまち

- 緑豊かで多様な自然環境の保全
- 豊かな恵みをもたらす森林環境の保全
- 健全な生態系の維持、生物多様性の確保
- 人と自然との豊かなふれあいの推進

【生活環境】

誰もが健康で安心して暮らせるまち

- 良好な大気環境の維持・保全
- 良好な水・土壌環境の維持・保全
- 3R※と適正な廃棄物処理の推進
- 身近な生活環境の保全・向上



※3R（スリーアール）

リデュース（Reduce：発生抑制）、リユース（Reuse：再利用）、リサイクル（再生利用）の言葉の頭文字Rをとって、3つあるので3R（スリーアール）といいます。



【快適環境】

ゆとりと潤いのある快適に暮らせるまち

- 暮らしにおけるゆとりと潤いのある空間の保全・創出
- 歴史・文化的環境の保全・継承
- 誰もが気持ちよく暮らすためのマナーやモラルの向上

【地球環境】

地域から地球環境の保全に貢献するまち

- 地域から取り組む地球温暖化防止行動の推進
- 地球環境問題への適切な対応



【環境保全に取り組むための基盤づくり】

ともに学び、考え、行動する 環境にやさしいまち

- 環境保全について自ら考え行動できる人の育成
- よりよい環境の保全・創造に向けた活動の推進

はじめの一步！伊達市がまず取り組むこと

4つのリーディングプロジェクト（計画の先導的な役割を果たす事業）

だての森林（もり）づくり大作戦！

- 森林環境税を活用した森林づくりの促進
- 地場産材の利用促進
- ペレットや薪の利用促進 など

農地復活、農村集落活性化大作戦！

- クライン・ガルテンやグリーン・ツーリズムの促進
- 学校給食等を通じた地産地消や食育の推進
- 菜の花などによる遊休農地の利活用促進 など

鮎がきらめくきれいな川復活大作戦！

- 流域連携による水質浄化対策の推進
- 生活排水処理対策の推進
- 河川水辺の環境美化の推進 など

ごみダイエット大作戦！

- マイバック持参運動やマイ箸、マイボトル等による生活系ごみの減量化
- 事業系ごみの減量化、適正処理の推進 など

皆さまの力を合わせてよりよい伊達市を未来に残していきましょう。